

Metso の新型 PaperIQ Select がオンラインペーパーの解析と品質安定制御のハードルを上げる

メツォオートメーションは、**PaperIQ Select** の商品名で新しい革新的な紙品質制御システムを発表した。同システムは、オンライン品質とプロセス解析機能および抄紙機の変動制御を強化した。これらの改善は、新しい紙品質測定方法、オンラインにおける流れ方向 (MD)と幅方向(CD)スペクトル解析及びスキャン制御機能など、まったく新しいアプローチによって実現された。

この革新的な卓越したシート測定技術は、従来とは異なったダイナミック測定、定常時及び紙切れ、グレード変更のようなマシン変動時の制御や紙エッジの正確な解析を可能にしている。これらはすべて超高速測定とデータ収集を実現するコンピュータ内蔵スキャナが可能にしている。新しい IQScanner-*i*は、11m までのトリム幅に適用される。

従来スキャン方式の終わり

新しく特許となった適応型シチュエーションベーススキャン方式により、従来 QCS のフロントからバックへの一定スピードスキャン方式による解析や制御と比較して大きく改善された。これにより、定常時と変動時に適応した MD と CD の制御応答を得るために、スキャンのスピードやスキャン幅を可変にすることが可能である。この結果、迅速なスタートアップやグレード変更、紙切れやコータブレード交換後の素早い回復を可能にし、損紙の削減につながる。

迅速なオンラインのシート解析

設定された変動バラツキがトリガーとなって、システムは自動的に分析モードへ移行する。システムに組み込まれたスペクトル解析機能により シート MD 変動をいくつかの周波数帯としてレポートする。これにより、品質変動が上流プロセスの変動と関連付けられ修正することが可能となる。この変動解析は、連続的な改善プログラムのひとつの評価基準として使用することができる。又、より良いエッジ品質を得るために重要なエッジ部分について高分解能、高スピードの解析を実施することができる。

最新測定技術を搭載したセンサ

この新しい PaperIQ Select は、坪量、灰分、水分、カラー、レーザー&磁気キャリパ、光学的グロス、イメージ解析地合、透気度、リール巻き径とハードネス、

シートテンションプロファイル及び高速の IR 検出によるウェットエンド水分レベルを測定する機能を有している。

全く新しい特徴の 1 つは、赤外線を使用したセンサにおける最新の赤外線検出技術である。最新の波長解析技術が水分、オパシティ、ファイバ、灰分レベル、シリコンを含めてその測定に使用されている。測定方式はアプリケーションに合わせて選択することができる。例えば、この赤外線測定技術を用いれば、放射線源を用いた坪量計は、ティッシュでは必須ではなくなる。

写真 1 11mまでのトリム幅にデザインされたインテリジェント IQScanner-i

詳細については以下を参照：

コミュニケーションと出版物についての問い合わせ：

ヤーモ・アーベスト

jarmo.ervast@metso.com

+358 40 552 73 74

技術的または製品についての問い合わせ：

ユッカ・ソルサ

ビジネスマネジャ、品質管理システム

jukka.sorsa@metso.com

+358 40 543 47 54